



日本共産党 北区議会議員

のの山けん 区政レポート

https://ken-nonoyama.com/ mail@ken-nonoyama.com

No.780 2026.4.8

日本共産党北区議員団
〒114-8508 王子本町1-15-22
ご相談は
お気軽に **090-2156-3510**

日本共産党北区議員団が繰り返し要請してきた

区民の要望実現へ

実現した主な新規事業

- 奨学資金返済支援給付事業
- 区立小中学校修学旅行等宿泊事業の無償化
- 若者支援・活躍応援事業
- 多文化共生専管組織の設置
- 不登校担当アドバイザーの設置
- 区独自の低所得者向けエアコン購入助成

暦が変わり、新年度がスタートしました。日本共産党北区議員団は、予算議会と、それに先立つ山田区長への新年度予算要望などを通じて、切実な区民要望の実現を求めてきました。そのうちいくつかの事業が今年度、予算化されました。

奨学資金返済支援給付事業は、2024年度中に大学等を卒業した人を対象に、最大100万円の奨学金返済相当額を給付するものです。

区立小中学校の宿泊事業の無償化は、小学校の岩井自然体験教室、日光高原学園、中学校の修学旅行などを全額無料とし負担軽減を図ります。

若者支援・活躍応援事業では、新たに専管組織を設置し、実態調査や(仮称)若者会議などに取り組みます。

昨年度好評だった低所得の高齢者、障害者、ひとり親世帯向けエアコン購入助成は、事前にお金を用意する必要のない新たな制度として拡充を図ります。(のの山けん)

北区議員団ニュース 春号ができました

3月25日に終了した北区議会第1回定例会での論戦を紹介する日本共産党北区議員団ニュース春号ができました。

北区平和都市宣言40周年の年を迎え、戦争を止めるために、憲法9条、非核三原則を遵守し、平和を発信する北区となるよう求め続けていきます。(のの山けん)



再開発か、修復型か—今年度から2か年かけて

ガイドライン策定へ

赤羽駅東口地区まちづくりは、昨年度の基本計画をふまえ、今年度と来年度の2か年をかけてのガイドライン策定へと進んでいきます。

ガイドラインは、区域全体の土地利用や基盤整備のあり方を取りまとめる誘導指針と、駅前広場や一番街、赤羽小学校敷地を含む重点区域の整備方針を定める整備計画を含みます。

4月28日には親会議として第1回策定検討会が開かれ、地域住民の傍聴が可とされていますが、その後に開かれる基盤・土地利用部会、施設整備部会の2つの部会は「非公開」とされています。また、施設整備部会に向けて庁内で検討される赤羽小学校、赤羽会館、赤羽公園などの整備方針についても、その議論は「非公開」とされています。

ガイドラインの策定は、「第一地区」に続き、一番街周辺や赤羽小敷地を含む「中央地

赤羽駅東口地区まちづくりガイドライン 第1回策定検討会

●日時 4月28日(火)14:00より

●場所 赤羽会館4階大ホール

※傍聴は当日、直接会場にお越しください。

【問合せ先】赤羽駅周辺まちづくり担当課 ☎3908-7185

区」の市街地再開発を計画化するかどうか大きな争点となります。基本計画策定時に先送りとされた「再開発か、修復型まちづくりか」の選択は、地域住民の最大の関心事であり、この議論を住民の目から隠して行うことがあってはなりません。

まちづくりは住民合意、公開が原則であるはずですが。引き続き、会議の全面公開を求めていきます。(のの山けん)

赤羽駅東口地区まちづくりガイドライン

■まちづくり誘導指針【全体】:土地利用や基盤整備のあり方を取りまとめた誘導指針

■まちづくり整備計画【重点】:重点的にまちづくりを進める地区の具体的な整備方針

社会保障は“大きな経済” 北区革新懇が総会 大門参院議員が講演



5日、北とぴあで北区革新懇総会が開かれ、日本共産党の大門実紀史参院議員が「軍事大国化をめざす高市政権 どーなる日本の政治と私たちの暮らし」と題して記念講演。

大門氏は、「社会保障は国民の権利であるとともに、大きな経済効果を生む分野」と訴え、医療費削減など高市政権の福祉切り捨て政策から、国民の運動で社会保障の充実へと転換させようと呼びかけました。(のの山けん)